



下水道事業の進捗について

平成29年度
水と緑の部

7号特殊人孔 地上より撮影

下水道事業

下水道

新設整備 公共下水道整備 汚水事業・雨水事業

再整備

下水道総合地震対策事業

下水道施設長寿命化対策事業

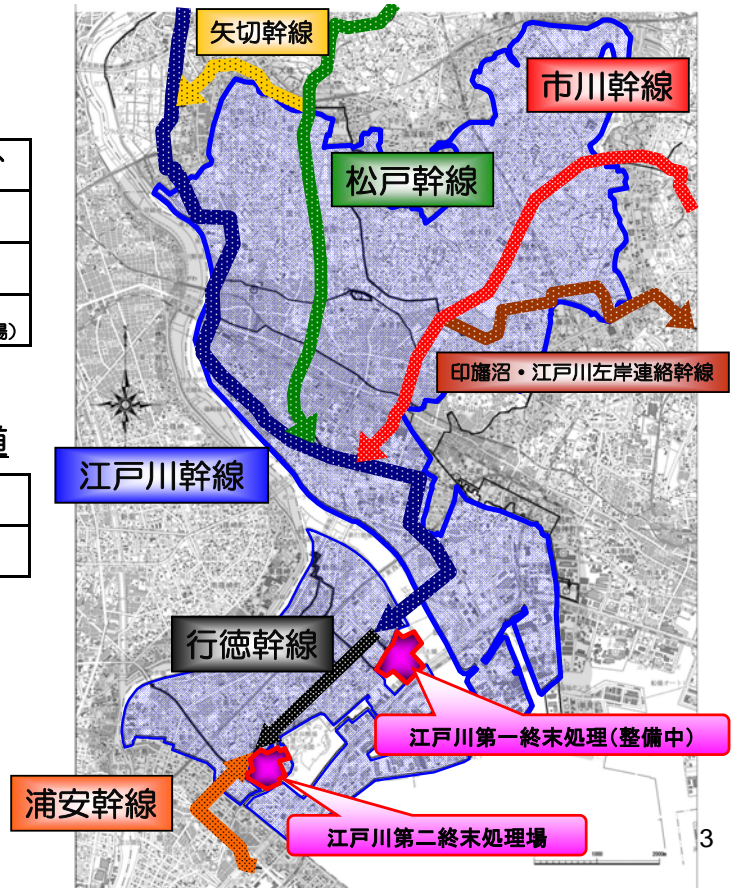
下水道事業（千葉県）

江戸川左岸流域下水道

関連市町村	市川市、松戸市、流山市、野田市、柏市、鎌ヶ谷市、船橋市、浦安市
計画処理面積	20,417ha
計画処理人口	1,421,100人
終末処理場	2箇所 (江戸川第一終末処理場、江戸川第二終末処理場)

市川市江戸川左岸流域関連公共下水道

計画処理面積	5,077ha
計画処理人口	454,400人

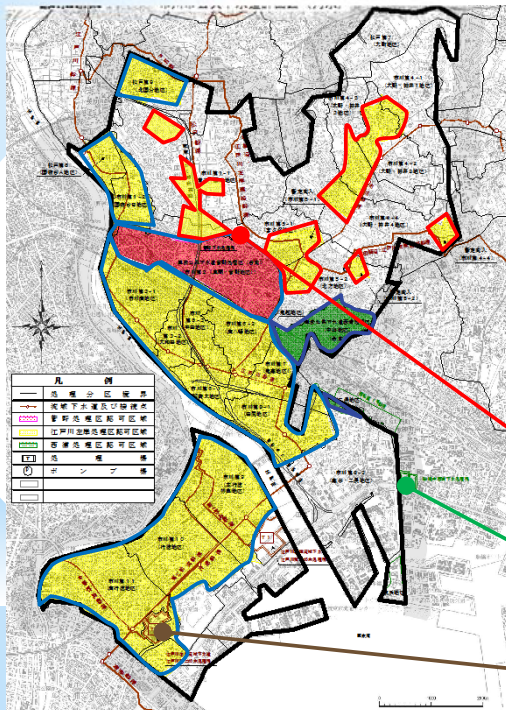


公共下水道（污水）事業

H28年度末普及率：72.6%

H41年度末普及率：100% (市街化区域)

* 市内の下水道整備状況



: 菅野処理場の処理区域(合流)

: 西浦処理場(船橋市)の処理区域(合流)

: 江戸川第二終末処理場(県)の処理区域(分流)【江戸川左岸流域下水道】

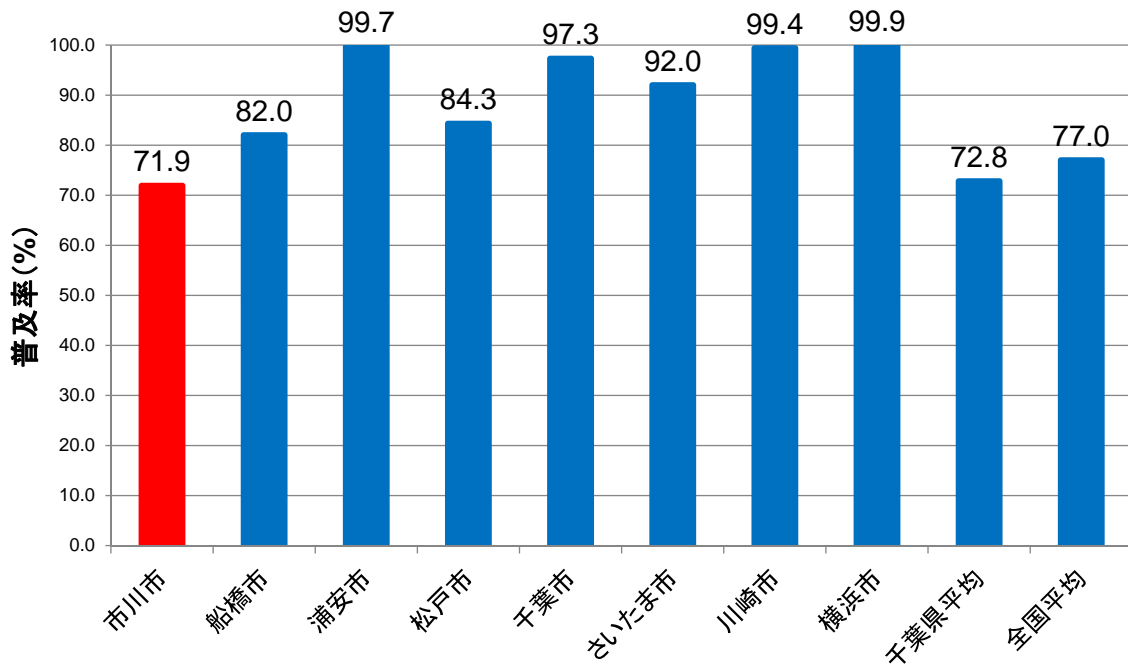
菅野終末処理場

船橋市西浦下水処理場

江戸川第二終末処理場

下水道普及率

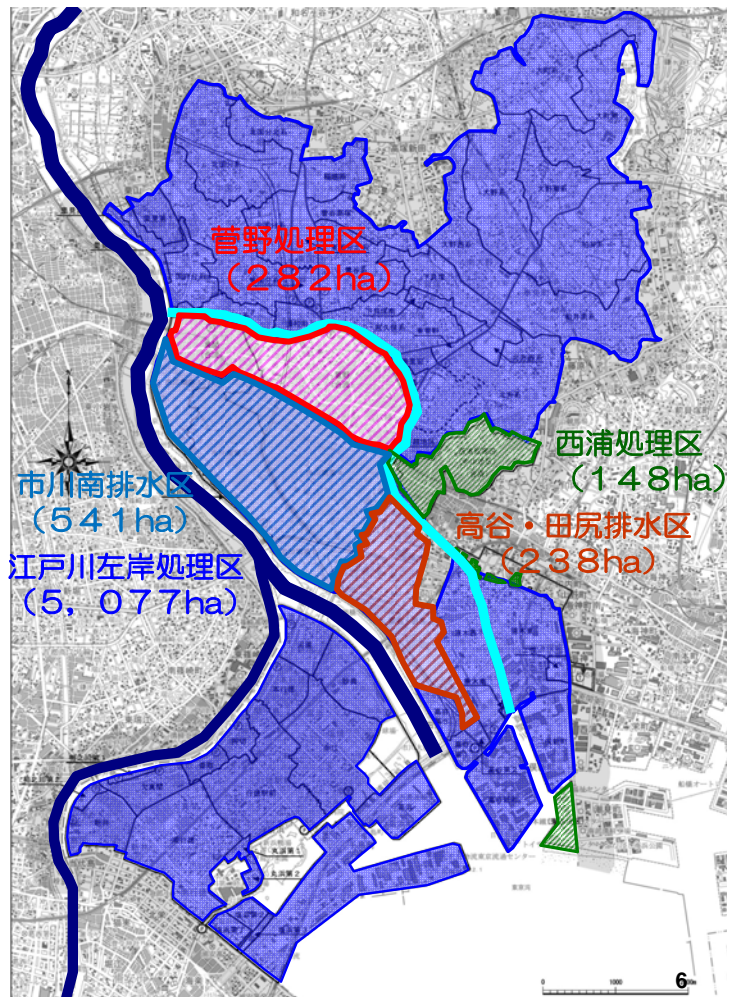
(平成28年3月31日時点)



5

【雨水事業】

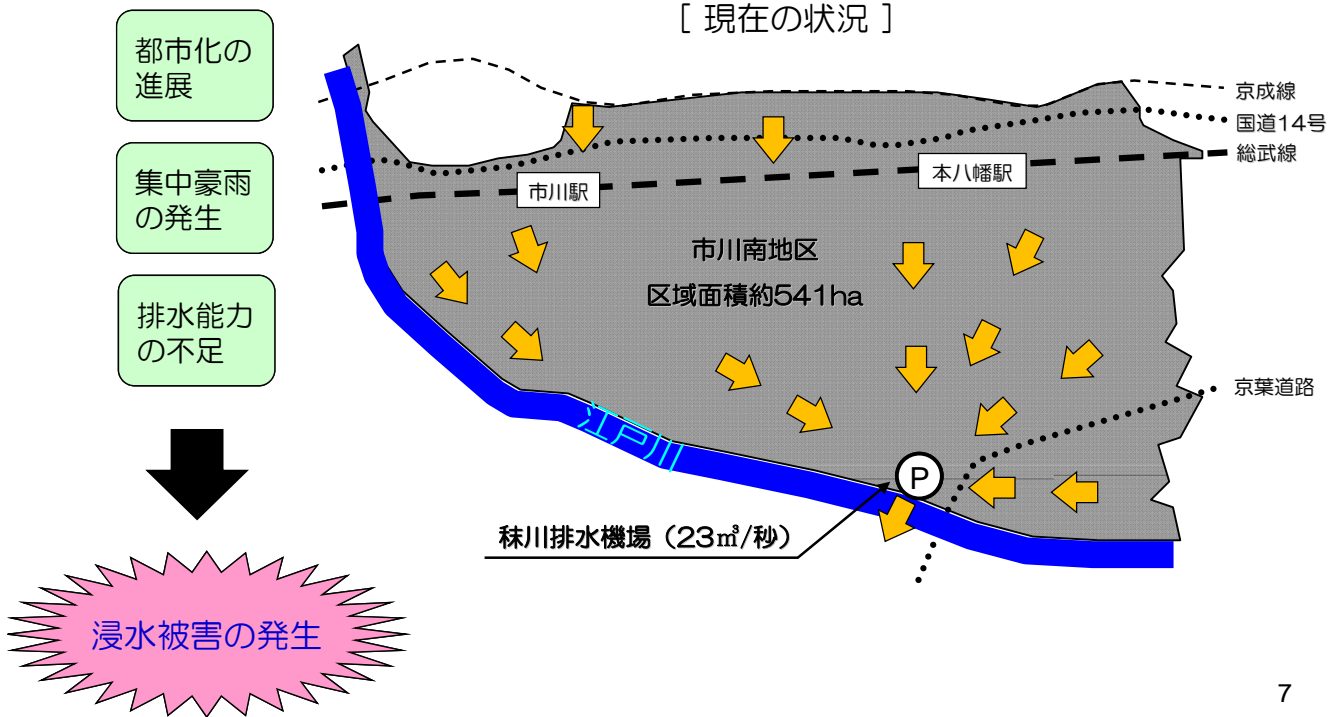
- ・菅野処理区
➡ 合流式下水道として整備完了
- ・西浦処理区
➡ 合流式下水道として整備中
- ・江戸川左岸処理区
➡ 整備優先区域を定め整備中
(市川南、高谷・田尻地区)



6

市川南地区の雨水整備事業

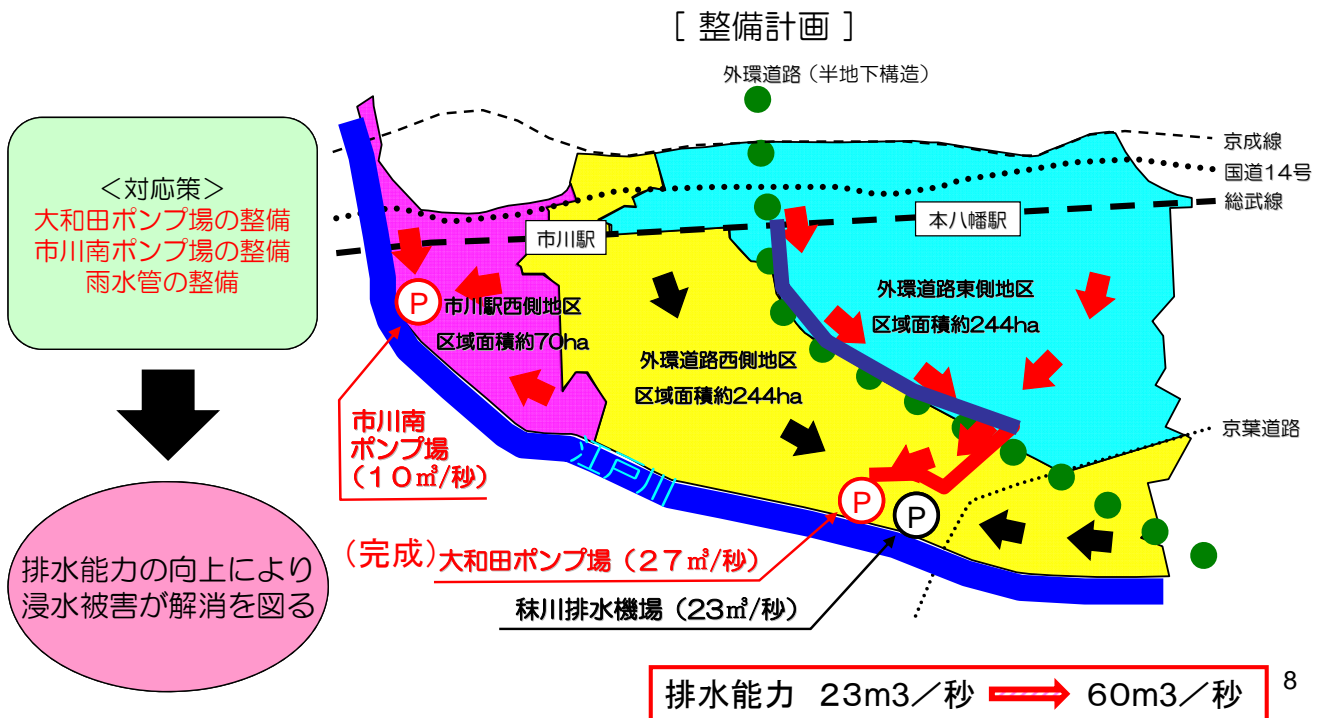
市川南地区の雨水は、秣川排水機場（県）より江戸川へ排水されていますが、都市化の進展などによる流出量の増大により、度々浸水被害が発生しています。



7

市川南地区の雨水整備事業

市川南地区の雨水排水系統を外環道路の東側と西側、市川駅の西側の3つの区域に分割し、大和田ポンプ場と市川南ポンプ場を新設することで、雨水排水能力を23m³/秒から60m³/秒へ増やします。



8

場 所：市川市大和田2丁目22番地

敷地面積：約5,300㎡

構造規模：地下4階、地上1階建、建物高さ約10m

計画排水量：27㎡/秒(今回19㎡/秒)

ポンプ台数：5台(今回4台)

建設費：約115億円

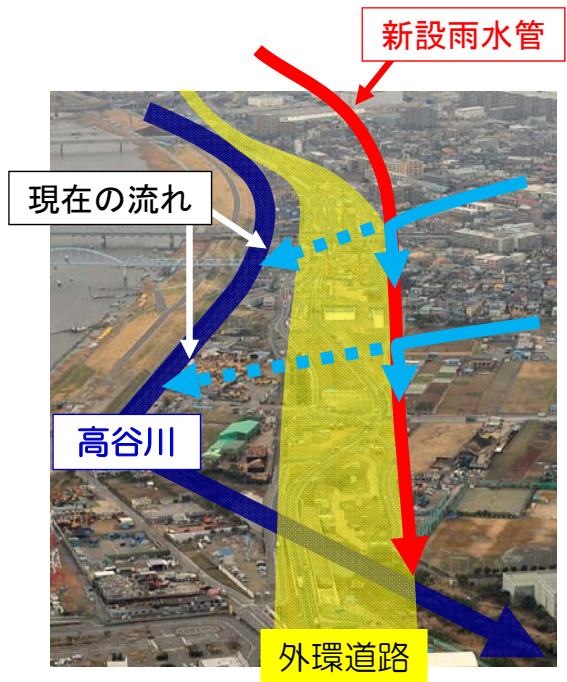
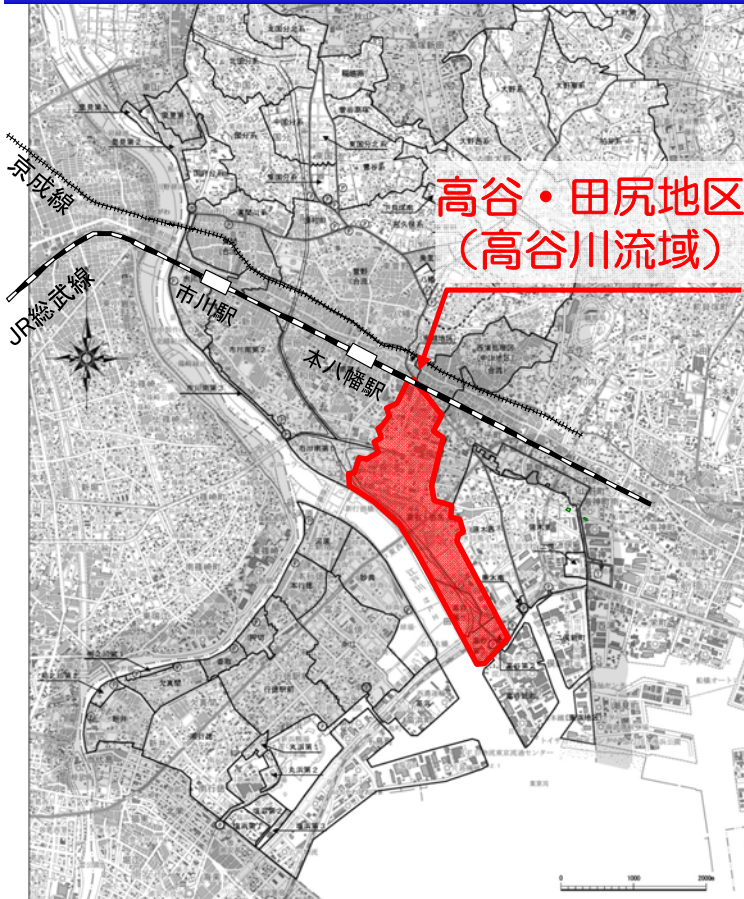


9



H26.10.15 台風

高谷・田尻地区の雨水整備事業



高谷・田尻地区の雨水整備事業



高谷・田尻地区の雨水整備事業



下水道総合地震対策事業



地震時における下水道施設への影響

- ・液状化現象によるマンホールの浮上
- ・管渠とマンホールの継手部の離脱



下水道の使用不可

H26 下水道総合地震対策計画 (全体計画) 策定
H27 下水道総合地震対策計画 (事業計画) 策定



短期計画 (5ヶ年) : 16.4km
【特に重要な管路施設】
H28 実施設計
H29~ 工事

- ・マンホール浮上防止
(過剰間隙水圧消散タイプ)
- ・継手部の離脱防止
(継手部の可とう化)

下水道施設長寿命化対策事業

下水道長寿命化事業とは、下水道施設の老朽化による日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため、施設の長寿命化計画に基づき計画的に改築・更新を行うものです。



ポンプ場の老朽化した
雨水排水設備



下水道機能の停止や、部品供給の停止により、修理不能となる可能性があり、設備の更新が必要。

【施工例】汚水ポンプ修繕による性能維持



施工前



施工後

15

ご静聴ありがとうございました。



7号幹線外環道路横断部 地下